



～ありがとう これからも地域とともに～



兵庫丹波の森協会ニュース2020



丹波の森構想を推進するため、丹波篠山市・丹波市の出捐により設立された（公財）兵庫丹波の森協会が、丹波の森公園・丹波年輪の里・ささやまの森公園・丹波並木道中央公園を拠点として、地域の方々の「参画と協働」により2020年（令和2年）に実施した主要な取り組みや事業等をお知らせします。

丹波の森づくり（地域づくり）への理解と関心を深めていただくとともに、今年の丹波の森づくりを振り返ります。

特に、今年は新型コロナウイルス感染拡大により予定どおり実施できない事業がありましたが、中止ではなく、感染予防対策に努めながら方法を模索し取り組んでできた事業もありました。

この経験をふまえ来年も事業展開をしていきますので、事業に関するご意見等をお寄せください。

❶は新規事業、❷は継続事業です。

トピックス

❶ 丹波の森公園入苑者600万人達成

丹波の森公園で9月6日（日）入苑者600万人達成を祝い、記念セレモニーを開催しました。

平成8年に開苑して600万人目となったのは丹波市春日町在住の細見良太さん、朋子さん、芽生さん（小3）、実生さん（小2）ご家族でした。

セレモニーでは角野公園長から、日頃から多くの方にご利用いただいているお礼と、丹波の森公園で「こんなことをしてほしい」「こんなことをしたら楽しい」など使い方の提案をどんどんしてほしいと挨拶があり、記念品（ちーたん・まるいのがッズ詰め合わせ）とフラワーアレンジメントを贈呈しました。芽生さん、実生さんは、この日から始まる当公園主催の「子どもミュージカル体験塾」の練習に来られており、「練習を頑張ります」と笑顔。細見さんご家族は、丹波の森公園のフェスティバルでは楽しい思い出があり、記念の600万人目になったことがとてもうれしいと話されていました。これからも丹波の森公園は皆様に愛される施設となるよう取り組んでまいります。

参考（開苑からの入苑状況）

年度	入苑者数
H12 (H12. 9. 29)	100 万人
H16 (H16. 10. 2)	200 万人
H20 (H20. 7. 23)	300 万人
H28 (H28. 6. 4)	500 万人

年度	入苑者数 (年度毎)	入苑者数 (累計)	備 考
H29	237,601 人	5,477,440 人	H8～R 元年度 年間平均入苑者数 248,860 人
H30	259,384 人	5,736,824 人	
R 元	235,817 人	5,972,641 人	



600万人目の来苑者



セレモニー

【継】 丹波産の国蝶オオムラサキ2世がウィーンで羽ばたく

兵庫丹波の森協会とウィーンの森があるオーストリア・ウィーン市とは、平成5年（1993年）に友好親善協定を結び、交流を続けています。

兵庫丹波の森協会と兵庫丹波オオムラサキの会が、平成31年2月にオーストリア・ウィーンに贈った国蝶オオムラサキの幼虫がウィーン市の国立シェーンブルン動物園で同年7月に羽化し、初めて産卵しました。その後、幼虫約200頭が孵化し、飼育されていました。そのウィーン生まれの幼虫（丹波産オオムラサキ「二世」）が無事越冬し、本年7月上旬に羽化（第1号）しました。（オス7頭、メス3頭）。

同園では昨年、日本オーストリア修好150周年を記念してオオムラサキ専用展示ケースが設置され、羽化した日本のオオムラサキがウィーン市民に公開されています。

丹波地域の貴重な財産である里山。その里山のシンボルともいえる国蝶オオムラサキが丹波地域とウィーンの交流の懸け橋となっています。



国立シェーンブルン動物園



オオムラサキの説明

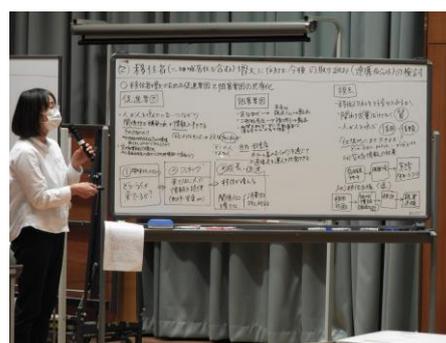
【新】 小規模集落再生のためのワークショップ ～移住者増大に向けた連携プロジェクト～

丹波の森研究所では、昨年度より「集落の再生」をテーマに調査研究を実施しています。今年度は昨年度調査を踏まえ、移住者をきっかけとした地域活性化に焦点を当て、兵庫県立大学と大阪府立大学との共同研究を進めています。

その一環として、11月19日（木）に丹波の森公園多目的ルームにて調査対象地区の福住まちづくり協議会や神楽自治振興会の皆さんとともに、兵庫県、丹波県民局、丹波篠山市、丹波市、地域再生アドバイザー、兵庫丹波の森協会など関係者と「移住者増大に向けた連携プロジェクト」について意見交換会を行いました。多様な視点から積極的な発言をいただき、今後の調査研究の参考となる意見交換を行うことが出来ました。



意見交換会



発言された意見の振り返り

新 シンボルの森整備事業

シンボルの森整備事業（「丹波の森公園散策道等整備」及び「ささやまの森公園森のステージ設置」）により、丹波の森公園は、散策道の西入口及び散策道を整備し、散策道の西入口がキレイになり「ココ」が散策道の入口だとハッキリと分かるようになりました。

また、ささやまの森公園においては、老朽化が目立ち使えなくなっていたステージを一新しました。ステージの床面積は3倍ほどになり、使い勝手の良いものになったことで今後の活用が期待されます。



丹波の森公園散策道（西入口）



ささもりのステージ

新 たんば恐竜街道モバイルスタンプラリー 丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会

丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムの主要施設やホームページを訪れた人をターゲットに、「たんば恐竜街道モバイルスタンプラリー」を開催しました。

川代ラインパークの主要施設に加え、世界最小の恐竜卵化石発見地や川代トンネル開通に伴い整備された「川代恐竜街道サイクリングロード」など川代ラインパークの隠れた名所をめぐるコースです。

スタンプラリーアプリを活用して、長期間、拡散型のイベントとし、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮するとともに、主要施設以外の隠れた名所などを紹介することにより、今後のリピーターにつなげました。

○期間：9月19日（土）～11月29日（日）



スタンプラリースポット
（主要4ヶ所／隠れた名所等11ヶ所）



モバイルスタンプラリー画面

❶ フェノロジーカレンダーを制作

フェノロジーとは、生物季節学または花暦学という意味で、自然を中心とする年間暦のことです。一年間の自然と生活・活動の流れをつかむことは、時間軸を考慮して地域や施設を立体的に理解し、資源の利活用のあり方を検討していく上で重要な手がかりとなります。

丹波の森公苑では、フェノロジーカレンダー作成のためのプロジェクトチームを立ち上げ、関係者によるワークショップを通して情報や写真を収集し、月ごとにカテゴリー（行事、学び、芸術、自然など）に分け、整理をしました。

生活創造センターとしての行事やプログラムだけでなく、豊かな自然、生物の生息する公苑であると再認識できました。

また来苑者にとっても、優れたガイドブックとして利用していただけると期待しています。



❷ 兵庫県地域高齢者大学「丹波OB大学」創立50周年記念事業

令和2年度に丹波OB大学が創立50周年を迎えることを記念し、記念式典をはじめとする記念事業等を実施しました。

(昭和45年10月18日 丹波OB大学開設)

○記念式典

日時：11月4日（水）11時 開式
会場：丹波の森公苑ホール

○記念行事

日時：11月4日（水）13時30分～15時35分
会場：丹波の森公苑ホール

- 実践活動発表会（3グループ） 劇団飛行機雲・スマイル8・傾聴ボランティア「虹」
- 記念講演 落語家 桂 歌之助 氏「古典芸能の師弟」

○記念作品展及び記念文化祭

日時：11月4日（水）～6日（金）9時～17時（11月6日は14時まで）

会場：丹波の森公苑 多目的ルーム及び創作工房

展示作品：書道、写真、絵画、絵手紙、丹波OB大修了生の作品、在学生個人作品、在学生学年作品



📌 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば2020を開催

新型コロナウイルス感染拡大により、オープニング・サロンコンサート、街角コンサート、ガラ・コンサートを中止しました。

そこで、今年度のテーマを「回想（かえりみ）と道標（みちしるべ）」として、「フランツ」に声楽家の老田裕子氏（ソプラノ）をお迎えし、25年にわたる音楽祭の映像や無観客ライブなどを動画投稿サイトで配信しました。

○思い出の街角コンサート

10地区の街角コンサート実行委員長と畑儀文音楽監督の対談を通して、25年にわたるコンサートを振り返り、音楽祭の楽しみ方を提案しました。動画投稿サイトYouTubeで配信しました。



思い出の街角コンサート対談収録

○トライアルライブⅠ

お菓子の里丹波ミオール館において無観客ライブを開催し、その模様を動画投稿サイトYouTubeでライブ配信しました。

開催日：10月9日（金）

会場：お菓子の里丹波ミオール館



トライアルライブⅠ

○トライアルライブⅡ

ガラ・コンサートが予定されていた丹波の森公苑ホールでライブを開催し、その模様を動画投稿サイトYouTubeでライブ配信しました。

新型コロナ対策をして、入場者約50人がライブを楽しみました。

開催日：11月13日（金）

会場：丹波の森公苑ホール

入場者：約50人



トライアルライブⅡ

○ふるさと音楽ひろば

丹波地域の小学校5校にプロの音楽家を派遣し、演奏会とワークショップを開催しました。子どもたちは、一緒に歌ったり踊ったりして演奏を楽しみました。

【実施校】

9月4日（金）丹波市立東小学校

10月8日（木）丹波篠山市立岡野小学校

10月16日（金）丹波市立和田小学校

11月21日（土）丹波市立鴨庄小学校

（令和3年1月22日（金）丹波篠山市立西紀北小学校 開催予定）



ふるさと音楽ひろば

❶ 丹波並木道中央公園来園者150万人記念セレモニー【丹波並木道中央公園】

12月18日（金）、開園以来、来園者150万人を達成し、記念セレモニーを行いました。当日、150万人目で来園されたのは、小林由記さんと彩陽（あさひ）さん（2歳）の親子です。「普段から、娘には自然に触れながら遊んでもらいたいと思っていて、この公園に毎日のように来ています。150万人目に選ばれて、とても驚きました。」とインタビューに答えてくださいました。

記念セレモニーでは、所長から150万人目の認定証と、記念品を贈呈しました。特別に用意した記念品は、園内の森から木を伐りだし、製材まで行った間伐材を使った木製椅子です。公園の木工指導員で、家具職人でもある吉田欣司が今回のためにオリジナルデザインで製作しました。そのほか、間伐材を活用したコースターやストラップ等のオリジナルグッズ、蘭の鉢植え、丹波竜フィギュアギフトセット（提供：丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会）、こんだ薬師温泉ぬくもりの郷の無料入浴券（提供：株式会社夢こんだ）、丹波篠山市にある兵庫陶芸美術館の招待券など丹波らしい記念品をお贈りすることができました。

平成19年（2007年）にオープンして以来、公園利用者や公園を支えていただいた地元の皆さんをはじめ関係の方々に感謝申し上げます。これからも県民のみなさんに愛される公園を目指していきます。



150万人目の来園者



特別に製作された
オリジナルデザインの木製椅子

❷ 15年ぶりの茅葺屋根葺き替え体験型の工事見学会を開催【丹波並木道中央公園】

○開園に伴い、地元から移築された茅葺民家（旧中道家）

園内にあるかやぶき民家（旧中道家）は、平成19年の開園に先駆け、平成17年に大山地区から移築されました。江戸末期に建てられた旧庄屋で、明治末期から昭和初期にかけては郵便局として活用されていた建物です。移築時には、地元の大山小学校の子どもたちが屋根の葺き替え作業に参加しました。

○15年ぶりの屋根葺き替え工事

移築から15年を経て、雨漏りの恐れがあり、屋根の葺き替え工事を行うことになりました。

11月28日（土）に工事見学会を実施し、参加者39人が植物性屋根の魅力を体験型で楽しみました。足場に登って、屋根に触れるほど間近から作業現場を見学したり、骨組み模型を用いて葺き替え作業を体験したり、茅葺職人によるクイズ等で盛り上がりました。新しい屋根の完成は令和3年1月末の予定です。竣工後も、これまでのように地域団体等との共催で、丹波むかしばなしイベントや、もちつき体験、狂言発表会等の催し会場として活用し、地域の人と一緒に公園運営を進めていく予定です。



葺替え工事のために組まれた足場



古い茅が取り外され、骨組みだけになった屋根



屋根葺き体験



茅葺職人によるガイド

森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざしました。

📖 丹波の森大学を開講

「丹波の森構想」を実現するための学習の場として、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり・そしてそれを支える「もり（森・守・盛）びと」づくりなど、将来の丹波地域を創造するための実践的な学習に場として、多彩な講師陣による講義と現地学習を交えた講座を展開しました。（有）きんもくせい代表取締役 天川佳美先生の講義では、阪神・淡路大震災後に整備した公園に市民が参加し、自ら植えたドングリが「もり」になりつつあり、そこに集う多くの人々が木々と共に緩やかに育っている「もり」の取り組みについてのお話をお聞きました。

○学習の基本テーマ：森と出会う、森に集う

○開催期間：6月20日（土）～令和3年1月16日（土）全8回（うち1回現地学習）

○会場：丹波の森公園多目的ルーム、丹波篠山市民センター、豊岡市内（現地学習先）

○受講生：35人



講義



現地学習（兵庫県立コウノトリの郷公園）

🆕 出張化石発掘体験会 丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会

恐竜化石発掘体験をととして、丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム（野外博物館）の魅力を伝え、丹波地域への誘客につなげることを目的に、これまで丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムエリア内で開催してきた化石発掘体験会を阪神間等の施設へも広げて実施しました。

○実施日、会場

8月30日（日）・11月15日（日）県立一庫公園

10月18日（日）県立尼崎の森中央緑地 10月25日（日）丹波の森公園

11月8日（日）県立舞子公園

12月5日（土）淡路島国営明石海峡公園

12月13日（日）篠山チルドレンズミュージアム



丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム等を説明



化石専門指導員による指導

📌 2020丹波の森フェスティバルを開催

10月25日（日）に「森とふれあおう！まるごと満喫☆丹波の森公苑」をテーマに2020丹波の森フェスティバルを開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大により、規模を縮小して開催。秋晴れの中、若い親子連れも多く、約900人の来場者がありました。

芝生広場にはお菓子の家が登場！魔女にお菓子をもらって笑顔の子ども達。森のステージではウクレレやオカリナ、柏原高校吹奏楽部による演奏、大路小学校児童による紙芝居、シューベルティアードたんばミニコンサートが開催され、会場は盛り上がりました。

紙飛行機づくりや化石発掘体験、ツリーイングなど様々なワークショップや展示、シールラリーなども好評。規模を縮小したこともあり、例年にくらべ、ゆっくりと丹波の森公苑を満喫していただきました。

○会場：丹波の森公苑芝生広場



イベント会場



森のステージ

📌 国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテストを実施

豊かな里山のシンボルとして丹波の地に国蝶オオムラサキが舞う日がくることを願い、さらに多くの人にオオムラサキのことを知っていただくために、丹波地域内の小学生を対象に国蝶オオムラサキの舞う里山イメージについての絵画を募集したところ、192点の応募がありました。

応募作品の中から、最優秀賞1点、入賞5点、佳作7点を選び、最優秀賞の丹波市立中央小学校3年生の山下可鈴さんに、2020丹波の森フェスティバルにおいて、角野公苑長から賞状を授与しました。

○展示期間：10月31日（土）～11月11日（水）

（その後、令和3年1月に丹波篠山中央図書館、2月に丹波の森公苑展示ギャラリーにおいても開催予定）

○会場：ゆめタウン丹波店



表彰式



作品展会場

【第3回「心を届ける たんば絵てがみコンクール」】【丹波年輪の里】

「心を届ける たんば絵てがみコンクール」は、家族や友人、親しい人の顔を思い浮かべながら、暮らしのひとコマ、風景、身近にあるものを描いた「絵てがみ」の全国公募および展示会です。

第3回の募集テーマは「夢」でした。

北は北海道、南は鹿児島まで全国34の都道府県から425名・502点の作品の応募があり、金・銀・銅賞、また「丹波」を題材に描かれたたんば賞などの入賞作品が10点と入選作品40点が選ばれました。

また、展示会には765名の来場者があり、心あたたまる多数の絵てがみ作品を楽しんでご覧いただき、感動や笑顔を届けることができました。会場では作品の人気投票を行い、「オーディエンス賞」の作品も選ばれました。

○展示期間：2月1日(土)～2月16日(日)

(その後、兵庫県勤労福祉協会(神戸市)、ゆめタウン丹波店、丹波の森公園にて巡回展示)

○会場：丹波年輪の里木の館ホール



金賞作品



オーディエンス賞作品

【森の学校 第13期生の活動】【ささやまの森公園】

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により「森の学校」の開校式もようやく9月になってから始まりました。例年に比べ開催回数は少なくなりましたが、小学3年生～6年生までの9人が7か月間、コンニャク作り、深山登山、クリスマスリース作りなど、普段の生活とは違う里山でのさまざまな自然体験活動を経験し、回を重ねるごとにたくましく成長していきました。

○開催期間：9月～令和3年3月

○会場：ささやまの森公園森の道場他



コンニャク作り



深山登山

🔗 写真・絵画コンテストを実施【ささやまの森公園】

「里山の自然や生きものを撮ろう、描こう」をテーマに第6回目となる写真・絵画コンテストを実施しました。写真・絵画の部合わせて20点の応募がありました。応募作品の中から厳正なる審査の結果、写真の部入賞作品3点、絵画の部特別賞2点を選び森の道場で展示をしました。

里山の自然を描写した写真や絵画を通して、多様な生物が生息する豊かな里山づくりの推進にふれる機会となりました。

○展示期間：11月1日（日）～12月20日（日）

○会 場：ささやまの森公園森の道場



入賞作品



展示会場

🔗 新たなプログラムを展開【ささやまの森公園】

新型コロナウイルス感染拡大により、2月末～7月までに予定していたプログラムを中止せざるを得ない状況となりました。そんな中ではありますが、新たな体験プログラムの取組として、紙や段ボールを使ってお面づくりや色をぬったり紙工作をして、1日を楽しむ「親子で楽しむ紙工作」やみつろうを使ってオリジナルろうソクを作る「みつろうでろうソクを作ろう」を展開し好評を得ました。

○開催日：10月4日（日）・11月23日（日・祝）

○会 場：ささやまの森公園森の道場他



親子で楽しむ紙工作



みつろうでろうソクを作ろう

講座「丹波学」特別編 明智光秀～光秀は何を見たか～

今年度の講座は、「明智光秀 ～光秀は何を見たか～」でした。NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放映にあわせて、「丹波学」の特別編として、光秀の系譜をたどる講座としました。

光秀の生涯を知ること、光秀がどのように丹波を見ていたのかを知り、丹波の人々がその時代をどのように生きてきたのかをあらためて学ぶ機会となりました。

○講義日、テーマ、講師

- ① 8月29日(土) 「明智光秀の出自をめぐって」
(株)歴史と文化の研究所 代表取締役 渡邊大門 氏
- ② 9月19日(土) 「明智光秀と織田信長・足利義昭との関係」
小山工業高等専門学校 非常勤講師 山田康弘 氏
- ③ 10月10日(土) 「近江時代の明智光秀」
城郭談話会 会員 福島克彦 氏
- ④ 11月21日(土) 「本能寺の変を考える」
東京大学史料編纂所 准教授 金子 拓 氏
- ⑤ 12月26日(土) 「山崎の合戦と明智光秀の最期」
東洋大学文学部 非常勤講師 柴 裕之 氏

※すべて時間は14:00～15:30

○会 場：丹波の森公苑ホール

○受講生：183人



第1回 講座

丹波の森子どもミュージカル体験塾

丹波の森子どもミュージカル体験塾は、今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、例年に比べ2ヶ月遅れで開講しました。

9月6日(日)に開講し、令和3年1月16日(土)まで15回のレッスンを行う予定で、丹波地域の小・中・高等学校の児童生徒49名の子どもたちが、劇団ウエスト(大阪府豊中市)の劇団員による指導を受けています。

令和3年1月17日(日)にレッスンの成果を見せる発表公演を行う予定です。

○開 講 日：9月6日(日)～令和3年1月16日(土) 全15回

○会 場：丹波の森公苑多目的ルーム他

○発表公演(予定)

日時：令和3年1月17日(日) ※2回公演(1回目10:30開演、2回目13:30開演)

会場：丹波の森公苑ホール

演目：オズの魔法使い

演出：令和2年度丹波の森子どもミュージカル体験塾生(49名)、劇団ウエストの劇団員



レッスン



❶ 丹波の森公苑ホール等自主事業「0歳からの丹波の森クラシックコンサート」

丹波の森公苑ホールで、未就学の子どもも一緒に入場できる親子のためのクラシックコンサートを開催しました。男性フルート奏者4人組の本格的なフルート演奏とコミカルなパフォーマンスで、小さな子どもから大人までみんなに楽しんでいただくことができました。

- 開催日：2月16日（日）14：00開演
- 会場：丹波の森公苑ホール
- テーマ：～フルート四重奏で紡ぐピアノの名曲たち～
- 出演者：アンサンブル・リュネット
- 入場者：121人



フルート四重奏の調べ



おもしろ演奏

❷ 2020兵庫県文化賞受賞者小品展（丹波の森公苑会場）

県内の5つの地域を巡回して実施している兵庫県文化賞受賞者小品展が丹波の森公苑多目的ルームで開催されました。

展示作品は、入札により譲渡され、その収益金の一部は、県内の芸術文化の振興と普及を図る活動を支援するために寄付されます。今年度は36名の方の作品が出展されました。

- 会 期：10月29日（木）～11月1日（日）
10時～17時（初日は13時から最終日は15時まで）
- 会 場：丹波の森公苑多目的ルーム
- 主 催：兵庫県文化賞受賞者懇話会
- 共 催：兵庫県・（公財）兵庫県芸術文化協会
- 開催地共催：（公財）兵庫丹波の森協会
- 後 援：神戸新聞社
- 入 場 料：無料



第43回 丹波の森新春書き初め展

丹波地域の小・中・高校・特別支援学校の児童・生徒と一般出品者の書道作品を一堂に展示する丹波の森新春書き初め展を開催しました。

丹波地域の児童、生徒と一般出品者が作品を通してより交流も深まり会期中は多くの来場者で賑わいました。

○期間、会場

①1月29日(水)～2月2日(日) 丹波の森公苑多目的ルーム

②2月6日(木)～10日(月) 丹波篠山市立四季の森生涯学習センター東館

○主催：(公財)兵庫丹波の森協会 丹波の森公苑

○主管：丹波書の会

○出展数：731点(特選59名)

○入場者数：1,771人



丹波会場



丹波篠山会場

地域活動支援事業 (子どもお琴教室)

本年度は、「丹波地域ふるさと芸術文化振興事業」の一環として、「地域活動支援事業(子どもお琴教室)」を5回開催しました。参加した子どもたち9名が講師からお琴の手ほどきを受けました。

子どもたちは、講師から琴の基本を学んだ後、稽古を体験しました。また、楽器を大切にすることと同時に学びました。

子どもたちの技術も回を重ねるごとに上達していき、最終日にはみんなで合奏の発表会をすることができるまでになりました。和楽器の良さは自然の素材を使用したやさしい音色で和の音楽を表現できる点ですが、今回、子どもたちは子どもお琴教室を通じて、和楽器の良さを感じとれる良い機会となりました。

○期間：9月6日(日)～11月14日(土)全5回

○会場：丹波の森公苑練習室



練習風景



修了日発表会

利用者の状況 (2020年1月～11月末現在)

【丹波の森公苑】	87,303人
【丹波年輪の里】	82,649人
【ささやまの森公園】	15,367人
【丹波並木道中央公園】	162,323人

公益財団法人 兵庫丹波の森協会

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原 5600
TEL 0795-73-0933 FAX 0795-72-5164
URL <http://www.tanba-mori.or.jp/koukai>
E-mail mori-kyokai@tanba-mori.or.jp

丹波の森公苑

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原 5600
TEL 0795-72-2127 (代表) FAX 0795-72-5164
URL <http://www.tanba-mori.or.jp/>
E-mail morikoen@hk.sun-ip.or.jp

丹波年輪の里

〒669-3312 兵庫県丹波市柏原町田路 102-3
TEL 0795-73-0725 FAX 0795-73-0727
URL <http://nenrin.org/>
E-mail mail@nenrin.org

ささやまの森公園

〒669-2512 兵庫県丹波篠山市川原八幡谷 511-1
TEL 079-557-0045 FAX 079-557-0201
URL <http://www.sasayamanomori.jp/>
E-mail csr@sasayamanomori.jp

丹波並木道中央公園

〒669-2221 兵庫県丹波篠山市西古佐 90 番地
TEL 079-594-0990 FAX 079-594-0991
URL <http://www.hyogo-park.or.jp/tanba>
E-mail namikimichi@tanba-mori.or.jp